



シーレックスグループは常に「“かけがえのない地球”の環境と資源を健全な状態で次世代へ引き継ぐことは私たちの責任であり、義務である」を念頭におき、グループ全体が共通認識のもと環境保全活動を推進しています。

環境マネジメント活動

私たちは1999年4月にISO14001認証を取得、2005年4月にISO14001:2004をシーレックスグループで取得しました。2009年1月には維持審査が行われ、現在12事業所が登録を行い、環境保全活動を重要なテーマとして取り組んでいます。



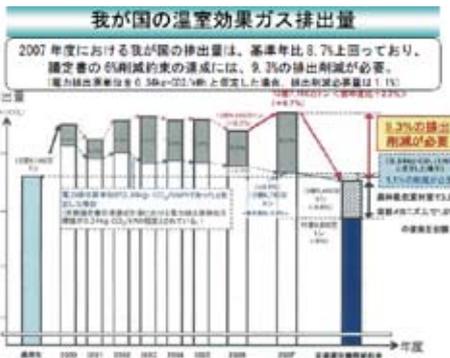
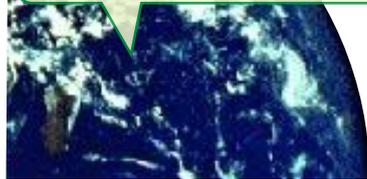
QMS EMS
ISO 9001:2000
ISO 14001:2004
JSAQ1406, JSAE108

●『ISO 14001』JIS Q 14001を10サイトで認証取得

環境教育

地球温暖化の深刻な状況、京都議定書と我が国の温室効果ガスの排出量、チーム-6%の具体的な取り組み内容を研修および社内誌を活用し行いました。

アル・ゴアの不都合な真実
・北極はこの40年で40%縮小、今後50年70年で消滅
・南太平洋諸島やフロリダの大半は水没。上海で4000万人、カルカッタでは6000万人が家を失う
・巨大ハリケーンが増大、自然災害の激増
・今後50年間に世界の40%の人々が深刻な飲み水不足
この不都合の真実が消えるわけではない。放っておけばますます重大になる。



チーム-6%



<100万人のキャンドルナイト>
100万人のキャンドルナイトは、夏至の日に『電気を消してスローな夜を』と呼びかけるキャンペーンです。07年度は全国63,138の主要施設が消灯し、約300万kwtの電力削減につながりました。このイベントにシーレックスも参加しています。



<クールビズ>

温室効果ガス削減のために冷房時の室温を28℃に。そんなオフィスで少しでも快適に過ごすため2005年度の夏にスタートしたのがクールビズです。シーレックスでもノーネクタイ等の軽装を奨励して夏場の電気使用量の削減に取り組んでいます。



<環境提案>

毎年、7月を環境提案月間と定め、従業員からいろいろなアイデアを募集しています。2008年度は104件の提案があり、『エアコンの室外機に日よけをつけて夏場の電力消費を防ごう』という提案が出され、効果を上げました。



化学物質管理

当社が順守しなければならない化学物質に関わる法的要求事項および顧客さまの要求事項に対して明確にし、化学物質の管理を徹底させています

化学物質

REACH規制(新化学品規制)

RoHS(有害物質使用制限)指令

グリーン購入の推進

私たちは、品質や価格だけでなく環境の事を考え環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入するグリーン購入について、シーレックスグリーン購入基準を定めて推進しています。



エコフラッグ (GSA)

スポーツ愛好家は、きれいな水と空気、すなわち地球環境の大切さを知っています。そして、未来世代のためにも、開発やビジネスなどの人間活動が自然生態系を破壊し、環境を汚染しないような新しい社会を創りたいと願っています。そして、そんな強い思いを持った仲間たちが集ま

って設立したNPOがグローバル・スポーツ・アライアンスです。このGSAの運動の賛同し、2004年度からシーレックスは加盟し、各事業所で推進しています。



● グローバル・スポーツ・アライアンス
http://www.gsa.or.jp/

シーレックス環境方針

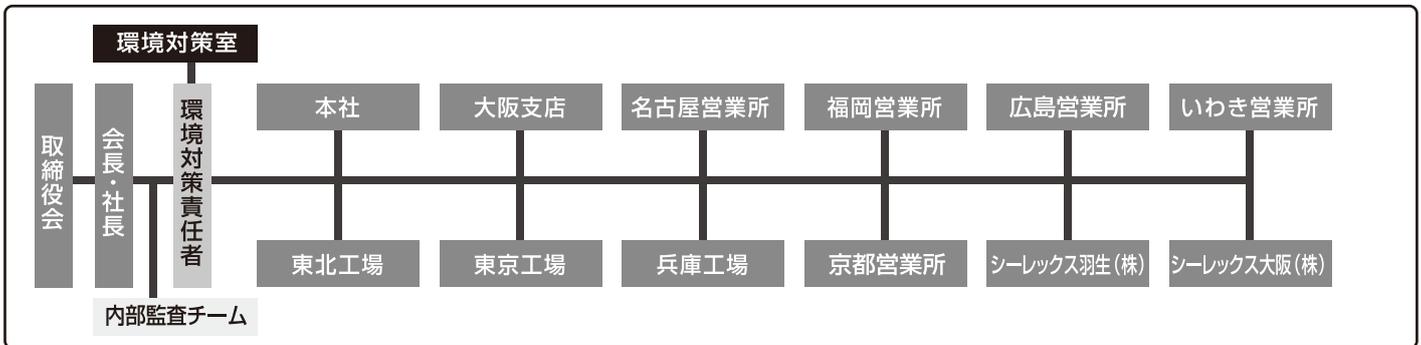
○ 基本理念

シーレックスは常に「かけがえのない地球」の環境と資源を健全な状態で次世代へ引き継ぐことは私たちの責任であり、義務である」を念頭におき、環境と調和した循環型社会をめざし、事業活動のあらゆる面で、環境保全に配慮し行動します。

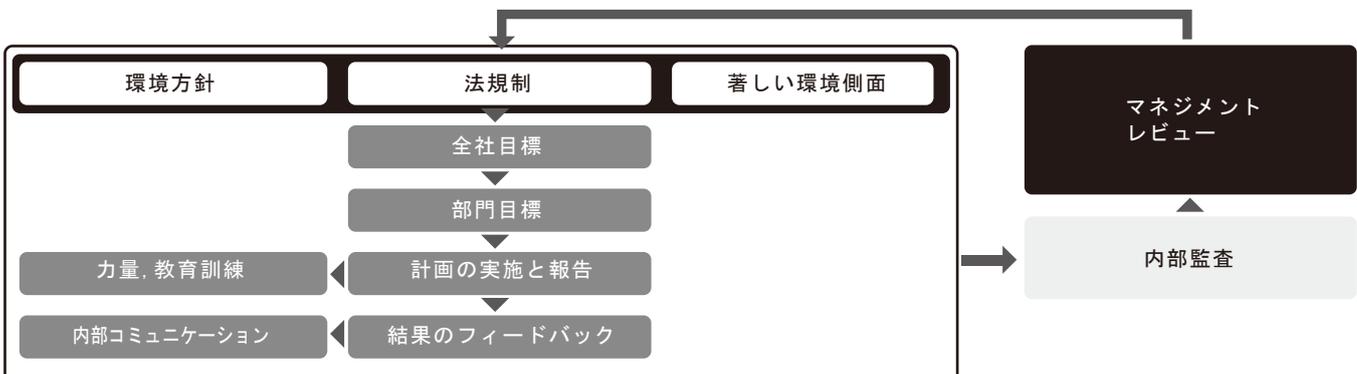
○ 基本方針

1. シーレックスは事業活動において地球環境の保全を推進するため、組織を整備します。
2. 事業活動が環境に与える影響を捉え、技術的、経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、環境保全活動を推進し、継続的改善を図り、環境汚染の予防に努めます。
3. 環境関連の法律、規制および協定などを遵守するとともに、自主管理基準を設定し環境保全に取り組みます。
4. 事業活動の全領域で省エネルギー、省資源、リサイクル、廃棄物削減に取り組みます。
5. 環境に配慮した商品づくりおよび技術開発を行うとともに、グリーン調達を推進を図ります。
6. 環境監査を実施し、環境管理の維持向上に努めます。
7. 環境教育を実施し、全社員の環境方針の理解と、環境に関する意識向上を図ります。
8. 社会とのコミュニケーションに努め、地域社会の環境活動に、積極的に貢献します。

環境マネジメントシステムの推進



● 環境マネジメント推進体制

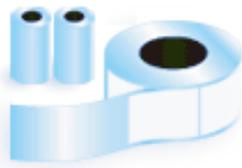


● PDCAサイクル

エコプロダクト・環境配慮型製品

シーレックスは、企業の社会的責任（CSR）を果たすために、「地球環境との共生」を目的とした環境保全活動に取り組んでいます。再生材料の使用やリサイクル可能ラベルなど、環境への負荷低減に向けた環境配慮型製品をご用意しています。

シーレックスの環境配慮型製品



再生可能剥離紙

ラベルを使用した後に残る剥離紙を、産業廃棄物ではなく古紙として再生処理することができます



生分解性プラスチックフィルムラベル

ラベル素材と糊の両方が植物由来の原料をベースに作られています



サーマルリサイクル

自社工場から出るタックラベルロス紙や剥離紙を固形燃料化し、発電用原料として再利用しています

環境ビジョン2008年度評価

シーレックスは環境方針の基本理念を達成するために具体的な活動の目標を示しています。

評価基準：数値化目標については下記の基準で評価

S：目標を大幅に上回る成果が上がった。

A：目標を十分に達成できた。

B：積極的に取り組んだが、目標に至らなかった。

C：取組みが不十分。

方針	目的	目標	評価
法規制の遵守	排水管理を継続的に行う	・定期測定の実施 ・遵法制の評価実施	A
	騒音管理を継続的に行う	・定期測定の実施 ・遵法制の評価実施	A
	特別管理産業廃棄物の管理を継続的に行う	・定期測定の実施 ・遵法制の評価実施	A
	使用禁止物質の購入規制管理を継続的に行う	・遵法制の評価実施	A
産業廃棄物の削減、リサイクル化	リサイクル化の推進	・リサイクル率を98%以上にする	A
		・廃棄物の分別、保管方法の維持推進を行う	A
	材料在庫を低減する	・材料在庫金額を2006年度比10%削減する	B
	製品在庫を低減する	・製品在庫を2007年度比10%削減する	S
多層ラベルの開発・拡販	多層ラベルの開発・拡販	多層ラベルの開発・拡販する	B
グリーン調達	エコカーの購入を推進	・エコカーの保有比率を100%にする	A
	グリーン購入を推進する	・グリーン購入基準の改善	A
		・グリーン購入の実施	A
リサイクル可能剥離紙の使用推進を行う	・再生可能な剥離紙をお客様に紹介する	A	
	・使用量を2006年度比10%に増やす	B	
C02の削減	C02排出量の削減	・売上高原単位で2006年度対比3%削減する。	A

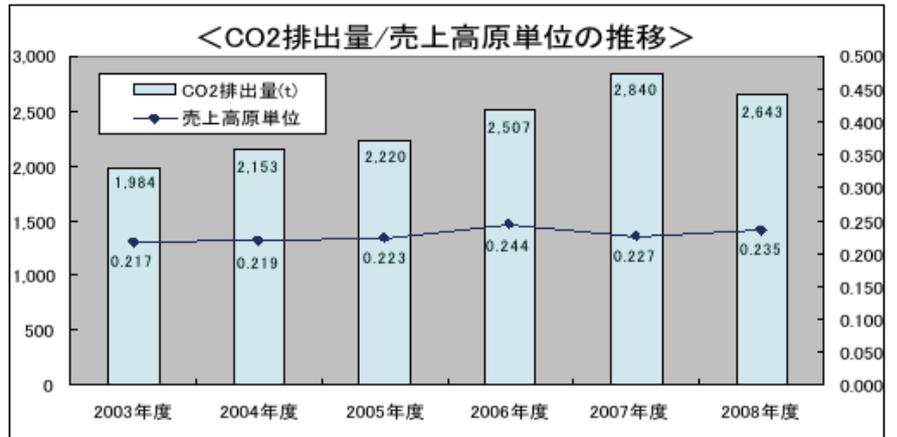
省資源・省エネルギーをはじめとする 環境負荷の低減に取り組んでいます。

2008年度はCO2の排出量で7%の削減ができました。産業廃棄物の排出量は前年横ばいという結果になりました。今後も継続してCO2および産業廃棄物の排出量の削減に取り組んでまいります。

省エネルギーへの取り組み

シーレックスは、二酸化炭素の排出量を抑制するため、省エネルギーに取り組んでいます。2008年度のCO2排出量は前年度対比7%の削減をすることができました。売上高原単位で見えますと、近年ほぼ同じように推移しております。今後とも省エネルギーを推進しCO2排出量の低減に取り組めます。

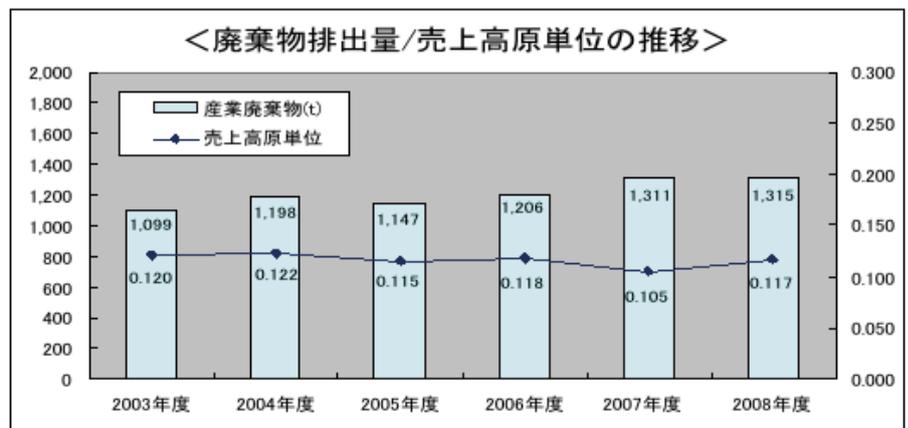
(注) CO2排出量は環境省の算出基準に基づく
対象エネルギー：電気・ガソリン



廃棄物の再資源化への取り組み

シーレックスは、産業廃棄物の再資源化を推進するため、徹底した分別管理を行い、固形燃料化(RPF)に取り組んでいます。2006年度に全社でリサイクル率98%を達成し、今年度も高いリサイクル率を維持しております。2008年度の排出量は前年ほぼ横ばい、売上高原単位目標につきましては達成率90%にとどまりました。今後も継続して、産業廃棄物排出量の抑制に努めてまいります。

(注) 関連会社の数字は含みません



環境経営の推進

2009年シーレックスは環境保全と利益創出を同時に実現する「環境経営」を全社員の目標とし、環境負荷の低減できるすべての事項についてリデュース(減らす)に実践してまいります。